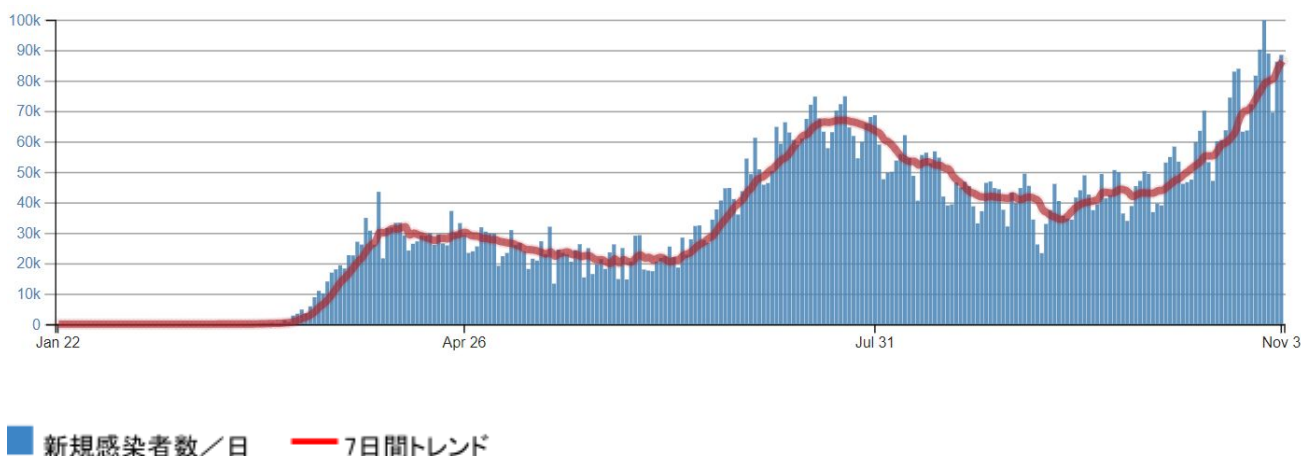


## 米国における現地情報

2020年11月4日  
EZGlobal123 代表取締役社長  
村井清美

### 【コロナ新感染者数増加トレンドと今後の大統領投票結果の行方】

昨日11月3日にアメリカ大統領選挙がおこなわれた。11月4日現在、CDC (米国疾病予防局)の統計によれば、米国では7日間累計でみた新型コロナウイルスの新感染者数が7月末のピーク時を超えた。感染者数は926万人に達し、感染死者数は23万人を超えている。インフルエンザのシーズンも到来し、状況の悪化が指摘されている。だが、ヨーロッパのように再び自宅待機令を発動するといったような動きは今のところ出ていない。



### 雇用と株価

コロナ禍からの回復ぶりを、雇用と株価の回復ぶりからみしてみる。10月2日の労働統計局の発表では、農業をのぞいた失業率が7.9%となった。これは、前月より0.5%減少。過去5カ月連続で減少しているが、未だコロナウィルスパンデミック以前よりも4.4%高い。10月のDow Jones工業平均株価は前月比 -6%となり、今年3月につぐ下落率を記録した。ただ、11月に入ってから景気刺激対策への期待感などから11月4日までに、+6.8%戻している。大統領選挙以降は株価の乱高下が予想されている。

### 大統領選挙前

2020年の大統領選挙の事前の世論調査は、メディア、シンクタンク、大学など多くの機関が独自におこなっており、一様に圧倒的なバイデン元副大統領の優位を報告していた。確かに、1)トランプ政権下で、新型コロナウイルスの感染者は増加を続け、2)トランプ大統領の姪のメアリー・トランプ氏がトランプ大統領の家族の暴露本を出版し、3)ニューヨークタイムズ紙はトランプ大統領が2016年と2017年に連邦所得税を750ドルしか支払っていない旨を報道し、4)9月29日の第1回目の大統領候補の討論会において、トランプ大統領は郵送投票に疑念を投げかけ続け、一部のメディアには史上最悪の敵対的な討論会と評され、5)更に大統領本人とその夫人がコロナウィルスに感染するなど、様々な悪条件が重なっていた。経済以外でトランプ大統領が評価される部分がないという見方が大半であった。その一方で、大統領選挙前の短い期間で、景気刺激対策に先んじて、最高裁判事に保守派のエイミー・バレット氏を任命することに成功した。

## 大統領選挙

アメリカの大統領選挙は複雑で、最初に各州で市民による投票がおこなわれ、その州を制した候補者が予め決められている数のElectoral Vote(選挙人票)を獲得。そして12月14日にこれらのElectoral Vote College(選挙人団)が投票した結果で正式に大統領が決定する二段式のしくみとなっている。大統領に選任されるためには、Electoral Voteを270獲得しなければならない。また、大統領選挙と同時に、上院と下院議員の選挙もおこなわれる。それぞれの当選議員数が、今後の政党の政策運営を左右するため、大変重要となっている。現在、上院は保守派の共和党が主導権を握り、下院は民主党が握っている。

## 大統領選挙当日(11月3日)

だが、ふたを開けてみると事前の世論調査の結果と異なり、スウィングステイト(流動性が高い州、特に、ジョージア・ノースカロライナ・フロリダ・ミシガン・ペンシルベニア・ネバダ・ウィスコンシン州など)で両候補者の接戦が繰り広げられた。トランプ大統領がフロリダを制したが、残りのスウィングステイトでは郵便投票の開票があるため結果がでていない。コロナ禍の影響で、今までと異なり郵便投票が広くおこなわれ、バイデン元副大統領の支持者の多くが郵便投票を選択しているといわれ、郵便投票の開票が進むにつれてバイデン元副大統領が有利だと予想されている。これに対して、トランプ大統領は郵便投票の正当性に関して、最高裁で争うと会見で表明した。

## 大統領選挙翌日以降

米国時間11月4日午後8時(セントラルタイム)までの開票結果では、選挙人票の獲得数においてバイデン副大統領が253で、トランプ大統領の213をリードしている。これには、前述したスウィングステイトのジョージア・ノースカロライナ・アリゾナ・ネバダ・ペンシルベニア州は含まれていない。現在も郵便投票の開票が続いている。トランプ大統領が勝つためには、ペンシルベニア州は必須で、更に残りの4州のうち3州を制する必要がある。だが、ネバダとアリゾナ州ではバイデン元副大統領がリードしており、ジョージアやペンシルベニア州でのトランプ大統領のリードが縮まっている。バイデン元副大統領が優勢であり、トランプ大統領が選挙に勝つための道は大変厳しくなっている。

上院の選挙では主導権を握るために51人の当選が必要で、現時点で共和党が48、民主党が46となっている。また、下院の場合は、218人を確保すると主導権を握ることができる。こちらは民主党が204と、共和党の190を上回っている。

トランプ陣営では今回の郵便投票の正当性に関して、ジョージア、ミシガン、ペンシルバニア州(各州への訴訟内容の詳細はそれぞれ異なる)に対して、訴訟をおこした。選挙の最終結果が出ないまま長引くことにより、今後の景気刺激対策の遅れや経済の先行きに不安を残すことになる。